

公益社団法人 日本工学会

令和 5 年度 事業報告書

自 令和 5 年 4 月 1 日

至 令和 6 年 3 月 31 日

令和 5 年度事業報告書

CPD 関連抜粋

公益目的事業 2:人材育成支援・技術者教育推進事業(定款第 4 条第 1 項第(3)号、(4)号)

1. 技術者教育・CPD(Continuing Professional Development)促進事業(CPD 協議会)

2023 年度は、前年度の Covid-19 パンデミックの影響による厳しい活動制限から次第に解除され、CPD 協議会運営委員会等では実開催を復活させ、従来のような活動に戻ることを始めた。具体的には、公開シンポジウム、各委員会（運営委員会、CPD プログラム委員会、ECE プログラム認定委員会、ECE プログラム委員会、CPD 広報委員会）、各 ECE プログラム（AIoT、ナノファブスクエア、プロセス新塾、電気・電子系高度技術者育成）の全てについて、オンライン形式を継続して当初の事業計画を実施した。併せて、日本工学会 CPD ガイドラインを、時代に即した内容にすべく、国際エンジニアリング連合（IEA）などの動向も見据えつつ 13 年ぶりに改訂した。

(1) 全体活動

① CPD 協議会シンポジウム

第 1 回公開シンポジウムとして、2023 年 11 月 17 日にオンライン形式で開催した。吉見俊哉先生から「人生の『マルチステージ』をつなぐ学び直し」のテーマで基調講演頂き、日本停滞の真犯人としての「タテ割り」「単線的年齢主義」の打破に向けての「マルチステージ」「マルチビジョン」の大学の創造等について等の具体的な提案の紹介があった。これを受け、廣崎膨太郎氏、秋永広幸氏、から ECE プログラムの現状と今後の課題等について、尾高義夫氏から土木学会の継続学習について講演を受け、最後に講演者全員による意見交換を通じて日本再興に向けての人材育成としての大学における幅広い実践的な知の教育に加え、継続学習による知的資源の拡充の重要性が、改めて明確となった。参加者数は 64 名であった。

なお、第 2 回 CPD 協議会シンポジウムは 2024 年 3 月 4 日（土）開催の「第 5 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム」を共催する形で実施した。

② CPD 協議会全体会議

2024 年 1 月 22 日に書面審議として開催し、事業報告・事業計画などについて報告・審議を行った。

③ 広報活動・対外連携の強化

CPD の認知度の向上、企業・学協会の CPD 活動の支援、CPD 協議会ホームページの充実、報道メディアとの連携、中小企業との連携模索、CPD 広報委員会活動などにより広報活動を進めた。なお、国の府省庁や民間産業団体との連携についてはコロナ禍の影響から活動は大きな制限を受けた。

(2) CPD プログラム委員会関連活動

CPD プログラム委員会を年間 4 回開催し、下記活動を推進した。

① CPD Web サイトなどの活動基盤再整備

会員各学協会の関連サイトへのリンクの充実を図る等、各学協会からの活用利便性の向上を図った。

② CPD 活動に関するグッドプラクティス、情報共有体制の強化

前年度に引き続き、会員学協会のグッドプラクティスの事例研究、情報共有を活性化し、そのアーカイブ化を推進した。

③ 学協会 CPD 活性化支援

国や産業界のニーズ、学協会が進める CPD 活動の課題などについての情報共有を進めるとともに、協議会会員学協会の CPD を活性化するための支援活動を前年度に引き続き推進した。文部科学省が進めている技術士制度検討では、技術士に留まらず広く技術者・エンジニア全般に関わる議論にも繋がることから、審議会での議論や動向についての情報共有を行うと共に、CPD の公的記録開始に伴い日本技術士会が設置した CPD 活動関係学協会連絡会に参画し情報を共有した。

④ CPD ガイドラインの見直し

2021 年に CPD 協議会（旧 PDE 協議会）発足 20 周年を迎えたことを契機に、本委員会の前身である CPD WG 委員会（2015 年に現在の名称に変更）が、2010 年に作成した日本工学会 CPD ガイドラインの改訂を 13 年ぶりに行った。2021 年に国際エンジニアリング連合（IEA）が改訂した PC(Professional Competencies：専門職としての知識・能力)を取り込むと共に、第 6 期科学技術・イノベーション基本計画、技術士制度検討の動向、前年度に開催した公開シンポジウムにおける議論も踏まえ、技術者を取り巻く環境の変化、産業界のニーズや動向を把握しながら検討を進めドラフトをとりまとめ、6 月の CPD 協議会全体会議で承認いただき、日本工学会理事会に報告した。併せて、CPD 協議会の在り方、CPD 協議会会員学協会への価値提供についても、時代に即したものになるよう検討を継続した。

(3) ECE プログラム委員会関連活動

オンライン形式で ECE プログラム認定委員会、ECE プログラム委員会を開催して以下の活動を推進した。

① ECE プログラムの継続実施

今年度は、エレクトロニクス実装学会が主催する「AI²oT ECE プログラム」、4 大学ナノ・マイクロファブ리케이션コンソーシアムが主催する NANOBIC ナノファブスクエア ECE プログラム、計測自動制御学会が主催する「プロセス新塾」、電子情報通信学会が主催する「電気・電子系高度技術者育成プログラム」を計画通り継続支援し、産業界からの積極的な参加を得た。

② 新規 ECE プログラム開発の支援

ECE プロモータを派遣し、かつて ECE プログラムを実施していた NIMS 推進委員会幹事との意見交換や今後プログラムの開発検討を進めている KISTEC 様との意見交換、追加の ECE プログラム開発検討を引き続き計画している。その他、教育活動に熱心な団体を調査した。（調査継続中）

③ ECE プログラムの広報

第一回 CPD 公開シンポジウム（11 月 17 日）において電気電子系 ECE プログラム実施報告および AI²oT ECE プログラム実施報告を各担当幹事・主査より紹介した。

一方、昨年度 SICE「プロセス新塾」についての会誌特集号の発行に際して、ECE プログラム広報の視点から支援を行ったが、本年度はこれを学会員以外にも J-stage で pdf 版を公開とした。（「計測と制御」2022 年 12 月号特集号「SICE プロセス塾 15 年からの知見と提言（現在・過去・近未来）」）

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/sicejl/61/0/_contents/-char/ja

④ ECE プログラム・プロモータの育成

「ECE プログラムの開発と実施のガイドライン」について機会を得て各地で紹介し、プロモータ育成に努めた。ECE 活動の認知度は徐々に上がりつつある。

(4) 広報委員会関連活動

- ① 「CPD に対する認知度向上」、「わかりやすい継続学習の勧め」を基本的なミッションとして、次の活動を行った。
- ② その一つの具体的な活動として、「CPD を促進する一口メモ」を CPD 協議会ホームページへ、No.16、No.17 および No.18 の 3 件を掲載した。

日本工学会 CPD 協議会 全体会議

回	開催年月日	会議内容	参加人数
第 1 回	2023 年 6 月 5 日 ～6 月 12 日 メール開催	CPD 協議会会長・副会長の交代の承認 2022 年度 ECE プログラム実施終了と 2023 年度の継続認定の承認 日本工学会 CPD ガイドライン改定の承諾	30 名
第 2 回	2024 年 1 月 22 日 ～2 月 2 日 メール開催	2023 年度事業報告・2024 年度事業計画の原案に関して書面確認で最終の意見集約	30 名

運営委員会

回	開催年月日	会議内容	参加人数
第 1 回 (45 回)	2023 年 6 月 1 日 WEB 会議	各委員会報告 第 4 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム報告 2022 年度 CPD 活動の進め方 CPD 協議会会長・副会長の交代の手続きについて協議	8 名
第 2 回 (46 回)	2023 年 7 月 14 日 WEB 会議	各委員会報告 2023 年度第 1 回 CPD 協議会公開シンポジウムの企画	5 名
第 3 回 (47 回)	2023 年 8 月 24 日 WEB 会議	各委員会報告 2023 年度第 1 回 CPD 協議会公開シンポジウムの企画 第 5 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウムについて	6 名
第 4 回 (48 回)	2023 年 9 月 19 日 WEB 会議	各委員会報告 2023 年度第 1 回 CPD 協議会公開シンポジウムの企画	7 名
第 5 回 (49 回)	2024 年 1 月 10 日 ～1 月 17 日 メール開催	2023 年度事業報告・2024 年度事業計画の原案に関して書面確認で最終の意見集約	9 名
第 6 回 (50 回)	2024 年 3 月 7 日 WEB 会議	各委員会報告 第 5 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム報告 2024 年度活動の進め方	9 名

CPD プログラム委員会

回	開催年月日	会議内容	参加人数
第 1 回 (78 回)	2023 年 6 月 20 日 WEB 会議	CPD 協議会運営委員会報告 日本工学会 CPD ガイドラインの改訂	15 名
第 2 回 (79 回)	2023 年 9 月 20 日 WEB 会議	CPD 協議会運営委員会報告 第 1 回 CPD 協議会公開シンポジウムの準備状況 第 5 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム CPD 活動及び登録に関するアンケート	15 名
第 3 回 (80 回)	2023 年 12 月 11 日 WEB 会議	CPD 協議会運営委員会報告 2023 年度第 1 回 CPD 公開シンポジウム開催結果 第 5 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム準備状況	13 名

		CPD 活動及び登録に関するアンケート 2024 年度事業計画・2023 年度事業報告案の検討	
第 4 回 (81 回)	2024 年 3 月 11 日 WEB 会議	CPD 協議会運営委員会報告 CPD 協議会全体会議報告 第 5 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム報告 CPD 活動及び登録に関するアンケートについて 第 3 回 CPD 活動関係学協会連絡会報告	15 名

ECE プログラム 認定委員会・委員会

回	開催年月日	会議内容	参加人数
第 1 回 (53 回) 委員会	2023 年 4 月 12 日 WEB 会議	SICE、ナノファブスクエア、電子情報通信学会の ECE プログラム 2022 年度完了報告案 SICE、エレクトロニクス実装学会、ナノファブスクエア、電子情報通信学会の ECE プログラム 2023 年度継続申請案	8 名
第 1 回 (15 回) プログラム認定委員会	2023 年 5 月 29 日 WEB 会議	2022 年度 ECE プログラム完了報 4 件並びに 2023 年度継続申請 4 件審議・承認	11 名

CPD 広報委員会

回	開催年月日	会議内容	参加人数
第 1 回 メール会議	2023 年 7 月 2 日 ～7 月 18 日	CPD を促進する一口メモ No.17「サーキュラーエコノミー型ビジネスへの転換」の検討・作成	4 名
第 2 回 メール会議	2023 年 8 月 24 日 ～2024 年 1 月 22 日	会議内容：CPD を促進する一口メモ No.18「サーキュラーエコノミー学習のきっかけ」の検討・作成 参加人数：	4 名

公開シンポジウム

回	開催年月日	会議内容	参加人数
第 1 回	2023 年 11 月 17 日 WEB 開催	～人生の「マルチステージ」をつなぐ学び直し～ 基調講演「大学は「マルチステージ」「マルチビジョン」の触媒となり得るか？」吉見俊哉 「電気・電子系高度技術者育成 ECE プログラムの実施と今後の課題」廣崎膨太郎 「AI2oT (Artificial Intelligence and IoT) ECE プログラムの現状と未来」秋永広幸、百瀬啓、浅井哲也 「教育から学習へ -土木学会の継続学習-」尾高義夫	64 名
第 2 回 共催	2024 年 3 月 4 日 WEB 開催	第 5 回世界エンジニアリングデー記念シンポジウムを共催	77 名 (一般参加者)